

令和4年度事業計画

1. 基本方針

益田市の補完団体として公の施設の管理運営業務に携わってから、本年度で20年目となります。その間、契約が終了した事業や新たに契約に至った事業もありましたが、今後とも安定した経営を行う上には益田市からの業務の受託が必要不可欠であり、また、加速される指定管理者制度に積極的に取り組むためにも益田市と連携を密にして受託可能な業務に関する情報収集に当たり、事業の拡大を図りたいと思います。

施設の運営及び管理については、従来より行ってきました各施設のモニタリングを実施して市民意見の集約を図り速やかな対応に努めることや、リサイクルプラザ工場棟の休祭日の受け入れ及びリサイクルプラザ啓発棟の出前教室の開催を引き続き行い、市民ニーズに対応する多様なサービスの提供をめざして努力すると共に、より良い行政サービスの補完組織として地域社会に貢献することを使命とし、受託した事業を経済合理的に遂行していきます。

本年度の事業推進につきましては、会社運営の健全性、効率化及び経営の安定化を図っていくため、今後も経費削減に努力するとともに重点目標を掲げて取り組んでまいります。

2. 事業推進

① 新規事業の拡大

② 本社建物テナント先の確保

③ 場外馬券発売所の売り上げの回復

令和4年度は上記を重点目標として取り組む

① 経営基盤の安定化を確立するためには事業拡大を図らなければなりません。新たな受託先の確保に努めるため益田市と連携を密にするとともに、さらなるコスト削減に向けて努力してまいります。

② 令和3年度にテナント1社が退去したことにより、現在160㎡の空スペースがあります。賃貸収入は大きな収入源となるため、早期にテナント先を確保するよう努力してまいります。

③ 「大井競馬場外馬券発売所」の売上は当社の業績に大きく影響いたします。利用顧客情勢は比較的高齢者が多く売上単価は低く、さらに、社会保障費等の負担増となり益々厳しい情勢です。過去にも「広報車による巡回」及び「新聞折り込みチラシ」や「景品無料配布イベント」の開催。加えて「施設美化対策」を実施してまいりました。また、平成24年度より「競馬新聞ポイントカード」の発行、平成25年度よりスカパーを利用した「競馬専門チャンネルの場内放映」の開始等、サービスに努めてまいりましたが、平成30年度は39,300人、令和元年度37,400人、令和2年度27,300人、昨年度は近隣市町村での新型コロナ感染拡大による影響を受け33,200人と相伴って売得額も予算に比べ大幅に減少いたしました。

今年度も引き続き来場者数・売得額の回復・増強に向けたサービスとして、「競馬新聞ポイントカード」のさらなる充実や年間10回以上の「景品無料配布イベント」等を実施し、場外発売所の施設が新たな魅力を発揮出来るよう努めながら集客と売上確保を目指して入場者数34,000人、売得額は360百万円を目標として取り組んでまいります。

また、コロナ禍の影響により減少した売上が少しずつ回復傾向にはありますが、競馬事業の継続について見直す時期に達している状況から、益田市と連携を図りながら今後の売上の動向を注視してまいります。